

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

延岡市長 読谷山 洋司

市町村名 (市町村コード)	延岡市 (45203)
地域名 (地域内農業集落名)	南浦地区 (熊北集落、熊南集落、須美江集落、甫場集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 5年 11月 27日 (第4回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は農業者の高齢化や鳥獣被害により、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めていかなければならない。そのため、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が必須となる。また、分散する担い手の農地を集約するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

【地域の基礎的データ】

主たる農業者：9人（うち50歳代以下2人）、団体経営体（法人）1経営体、従業員等3人
主な作物：水稻、キャベツ、甘藷

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域の主要産物である水稻を中心に畑地ではキャベツやたまねぎ等の団地化に取り組む。農地の集積・集約化や各種補助事業の活用により、農業を担う者の負担を減らし、効率的な営農環境への条件整備を推進していく。また、基盤整備事業により利水設備や営農条件を整え、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図り、次代の担い手に引き継ぐ。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	53.1 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	53.1 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は山林との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針</p> <p>農地中間管理事業を活用して担い手への農地集積を進め、将来的なりタイや農家の経営農地を引き受ける土台を作る。</p>
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針</p> <p>行政や関係機関と協力して機構を介した地域内農地の貸借手続きを行う。また、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に経営農地の集約化を進める。</p>
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <p>農地の効率的な活用のため、畦畔除去による農地の大区画化や暗渠排水等の基盤整備を実施する計画を立てる。また、行政や関係機関と連携して整備計画を策定し、補助事業の活用により地元負担の軽減を図る。</p>
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>行政やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術の支援や農業用機械、農業用施設のレンタル、農地の幹旋などの支援を実施し、相談から定着まで切れ目のない取組を展開する。</p>
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p> <p>地域内で農作業の効率化を図るため防除作業は株式会社スカイサービスに委託する。また、必要に応じて乾燥・糶摺り作業等について、北浦町農業公社に委託することで担い手の負担を軽減する。</p>

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/>	⑨その他		

【選択した上記の取組方針】

①須美江集落で効果をあげている国庫補助事業を活用したワイヤーメッシュ柵と電柵等を熊北集落、熊南集落、甫場集落にも横展開し、より効率的な対策を実施する。
 ⑨「農山漁村版ハローワーク（のべワーカー）」を活用して農福連携等により繁忙期の人材確保に取り組む。